

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	Wide QRS-T angle の臨床応用：慢性腎臓病患者における臨床組織学的特徴と心血管リスクの評価		
1. 研究の目的と方法	【目的】 慢性腎臓病の患者さんにおいて、心血管疾患は重大な合併症です。心電図は心臓の電気活動を記録し、心臓の働きを視覚的に示すため、心血管疾患の診断において重要な役割を果たします。心電図所見の1つであるQRS-T angle は心臓の電気活動における均一性・整合性を評価する指標で、異常がある場合は、Wide QRS-T angle となります。Wide QRS-T angle は症状のない心血管疾患の早期検出も可能です。我々は、慢性腎臓病患者においてWide QRS-T angle の発症率や臨床組織学的因子との関連性及び、生命予後・腎予後・心血管死の予測因子としての有用性を検討します。 【手法】 診療記録を使用した後ろ向き縦断的研究を実施します。本学附属病院腎臓・高血圧内科における慢性腎臓病で電図検査を実施した患者さんを、研究実施期間の診療記録より抽出します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	慢性腎臓病の患者さんで、2010年1月1日～2024年10月1日の間に附属病院にて心電図検査を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査、心臓超音波検査、病理検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座
		氏名	横尾 隆
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座 神崎 剛	
(4) 共同で研究	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	を実施する 施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て		この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年1月以降
【問い合わせ先】		機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座 研究責任者：教授 横尾 隆(よこお たかし) 窓口担当者： 本院 久野 秀明 (くの ひであき) 電話番号：03-3433-1111 (内線：3221) 対応時間：平日 09:00 ~ 17:00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。